

自由に！ダンスダンスダンス

幼児から小学生がプロのダンサーとダンスを楽しむ「こちかぜキッズダンス」(京都市東山区)の活動成果を発表する「オープンこちかぜ！」が26日に、京都市東山いきいき市民活動センターで開かれる。来場者が一緒に踊る体験会や、活動を振り返る写真展示も開かれる。

「こちかぜキッズダンス」は京都のNPO法人「ジャパン・コンテンポラリーダンス・ネットワーク」(JCDN)が主催。関西を拠点に活動するダンスカンパニー「セレノグラフィカ」の隅地葉歩と阿比留修一をナビゲーターに、2014年に始まった。

こちかぜキッズダンス ■ あす東山で発表会

活動8年 幼児からプロまで即興で連帯

隅地は「始まった頃に比べて子どもたちが新加入の子を導く良い雰囲気ができているのがうれしい」とこれまでの歩みを振り返る。阿比留は「今は学校でも外に出ても勝った負けたの世界。勝負事じやない時間を持つてほしい」と話す。

午後3時から。予約不要。無料。センター1075(5)41-5151。

|| 敬称略 (住吉哲志)



「こちかぜ」の練習風景。動きをそろえるのではなく自由に動くことを目指している(2021年12月、京都市東山区・東山いきいき市民活動センター)

同センターを拠点に年10回程度開催している。音楽に合わせてそろえて踊るのではなく、子どもたちの意欲を自由に引き出す「ヨミュニティダンス」の手法で、創造力や他人との連帯感を高めもらうことを目指している。

各回のワークショップでは「行ってみたい場所をいながらポーズをとつみよう」「トイレに行きたいたネコのように」など講師だけではなく、子どもたちも次々とアイデアを提案し、即興で動く。列になつて前の子の動きをまねしたり、動きの緩急を付けたりして1時間半を過ごす。

隅地は「始まった頃に比べて子どもたちが新加入の子を導く良い雰囲気ができているのがうれしい」とこれまでの歩みを振り返る。阿比留は「今は学校でも外に出ても勝った負けたの世界。勝負事じやない時間を持つてほしい」と話す。

午後3時から。予約不要。無料。センター1075(5)41-5151。